

## 【新】 ■兵庫県感染症対策センター（仮称） 設置事業

4,840千円

- 兵庫県新型コロナウイルス感染症対策検証報告書（R6.2）における指摘、兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画（R7.3改定予定）への対応として、**兵庫県感染症対策センター（仮称）を設置**し、また、感染症専門家を非常勤嘱託員として任用して**常時専門家意見を取り入れる**ことにより、**新興感染症への対応体制を強化**

○設置場所 県立健康科学研究所

○感染症対策センター（仮称）の機能

時期	項目	現状	センター設置後
平時 (既存感染症 対応)	情報発信の充実	・発生件数、年齢層等の事実 ・一般的な予防策	・分析による感染拡大前からの情報発信 ・施設や場面ごとのピンポイントの予防策
	人材の育成	感染症対策の中核病院への研修なし	左記病院の感染制御の指導者に研修
新興感染症 への備え	医療機関への 情報提供	国から提供される情報を提供	国から提供される情報の緊急性等を評価し、 独自の情報ネットワークによる情報を提供
	感染拡大予測 モデル構築	明確なエビデンスがない中、国指 針を踏まえた休業要請など	感染拡大予測モデルを構築し、モデルに基づ く必要最小限の休業要請などが可能となる
有事 (新興感染症 発生時)	対策の司令塔	県職員で構成された対策本部会議 で方針等を決定	初動から一貫して感染症専門家の知見を取り 入れて方針等を決定
	積極的疫学調査	県保健所の保健師等が感染経路等 を調査	感染症専門家が保健師等の感染経路等調査を 専門的に支援・全県的に分析

## 【拡】 ■ 新興感染症対策総合推進事業 (個人防護具の備蓄)

45,080千円

- 新興感染症に備え、国から義務付けられた数量の個人防護具（5品目）を備蓄

### ○備蓄必要数・考え方

新型コロナ対応時の需給実績から、**初動1か月目に必要となる個人防護具を県で備蓄**  
(概ね人口割、ただし協定医療機関備蓄分控除)

品目	本県要備蓄枚数 (※)
サージカルマスク	3,498,756枚
N95マスク	102,320枚
アイソレーションガウン	355,157枚
フェイスシールド	231,202枚
被滅菌手袋	3,193,455枚

※国指示：4年後を目途に必要な数の備蓄を完了

### ○備蓄方法

流通備蓄（卸売業者に委託し、流通在庫の中で常に必要数を確保）